

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第105回)

2023年 1月～3月期 実績

2023年 4月～6月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

(1) 設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
-------------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

(2) 業種別D I 値について・・・・・・・・	5
--------------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

(3) 全体D I 値について・・・・・・・・	8
-------------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移

(4) 比較資料編・・・・・・・・	9
-------------------	---

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較

(中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2023年3月
- ② 調査対象期間 今期（2023年1月～3月期）に対する前期（2022年10月～12月期）及び前年同期（2022年1月～3月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	209	77.4 (%)
輸送機器	40	→	33	82.5 (%)
その他製造	40	→	34	85.0 (%)
建設業	50	→	38	76.0 (%)
卸売業	30	→	21	70.0 (%)
小売業	40	→	31	77.5 (%)
サービス業	70	→	52	74.3 (%)

5. D I 値について

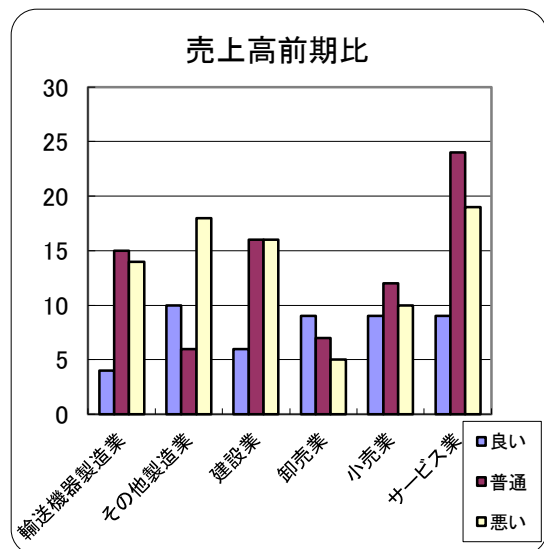
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

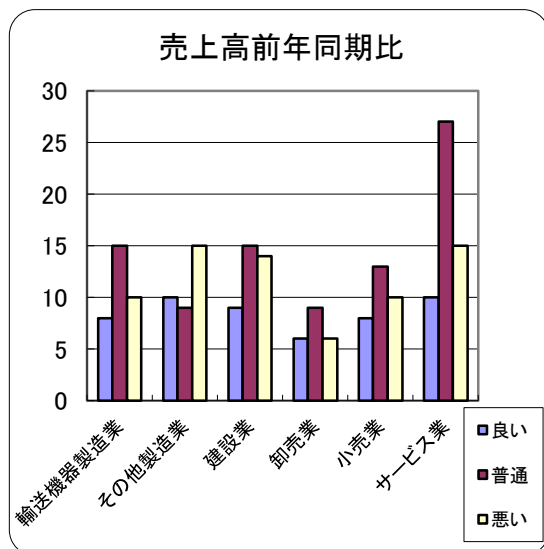
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	15	14	33	▲ 30.3
その他製造業	10	6	18	34	▲ 23.5
建設業	6	16	16	38	▲ 26.3
卸売業	9	7	5	21	▲ 19.1
小売業	9	12	10	31	▲ 3.2
サービス業	9	24	19	52	▲ 19.2
合計	47	80	82	209	▲ 16.7



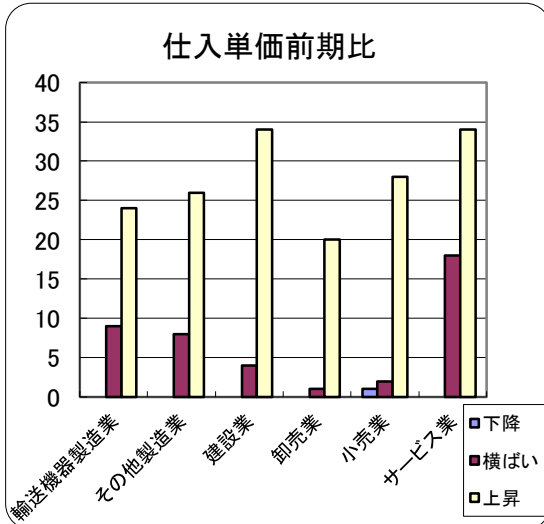
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	15	10	33	▲ 6.1
その他製造業	10	9	15	34	▲ 14.7
建設業	9	15	14	38	▲ 13.2
卸売業	6	9	6	21	0.0
小売業	8	13	10	31	▲ 6.5
サービス業	10	27	15	52	▲ 9.6
合計	51	88	70	209	▲ 9.1



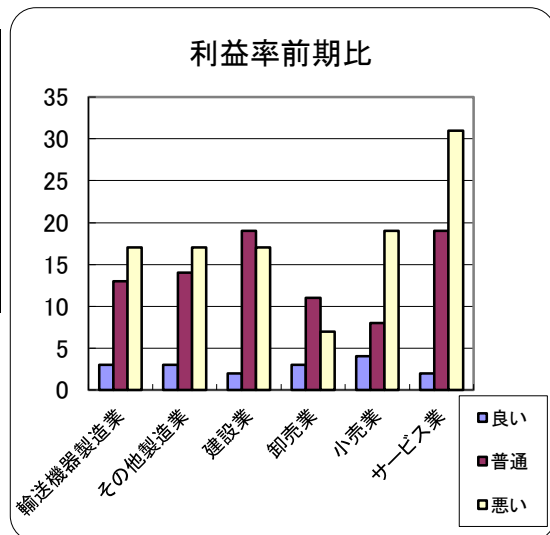
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	9	24	33	▲ 72.7
その他製造業	0	8	26	34	▲ 76.5
建設業	0	4	34	38	▲ 89.5
卸売業	0	1	20	21	▲ 95.2
小売業	1	2	28	31	▲ 87.1
サービス業	0	18	34	52	▲ 65.4
合計	1	42	166	209	▲ 79.0



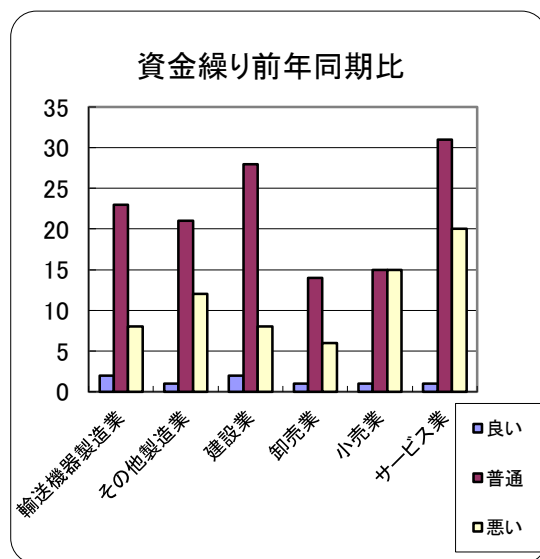
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	13	17	33	▲ 42.4
その他製造業	3	14	17	34	▲ 41.2
建設業	2	19	17	38	▲ 39.5
卸売業	3	11	7	21	▲ 19.0
小売業	4	8	19	31	▲ 48.4
サービス業	2	19	31	52	▲ 55.8
合計	17	84	108	209	▲ 43.5



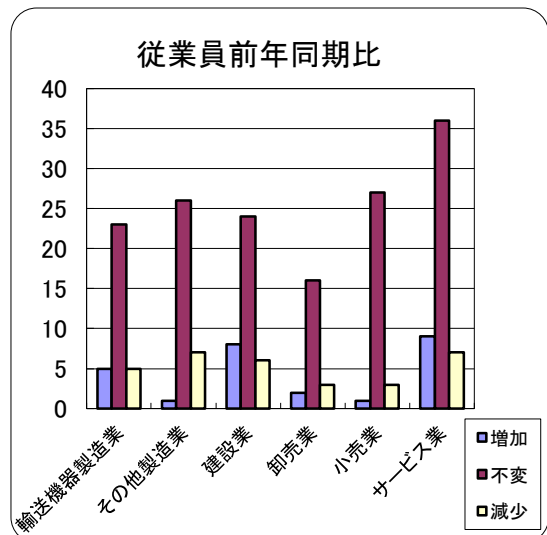
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	23	8	33	▲ 18.2
その他製造業	1	21	12	34	▲ 32.4
建設業	2	28	8	38	▲ 15.8
卸売業	1	14	6	21	▲ 23.8
小売業	1	15	15	31	▲ 45.2
サービス業	1	31	20	52	▲ 36.5
合計	8	132	69	209	▲ 29.2



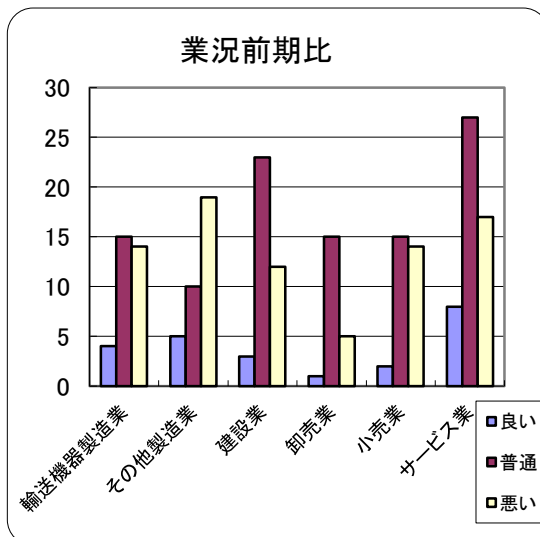
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	5	23	5	33	0.0
その他製造業	1	26	7	34	▲ 17.7
建設業	8	24	6	38	5.3
卸売業	2	16	3	21	▲ 4.8
小売業	1	27	3	31	▲ 6.5
サービス業	9	36	7	52	3.9
合計	26	152	31	209	▲ 2.4



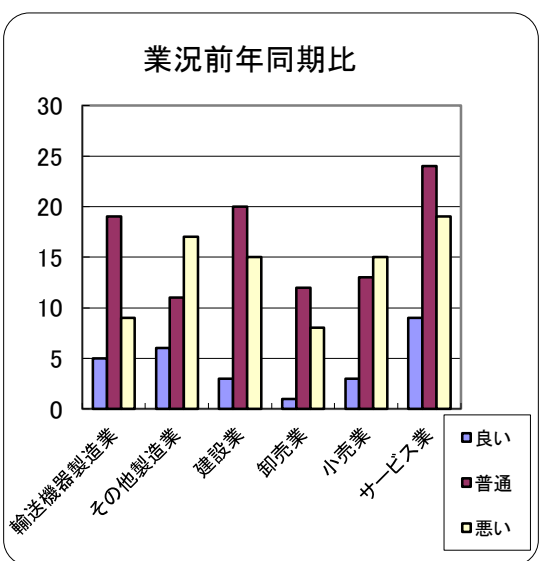
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	15	14	33	▲ 30.3
その他製造業	5	10	19	34	▲ 41.2
建設業	3	23	12	38	▲ 23.7
卸売業	1	15	5	21	▲ 19.1
小売業	2	15	14	31	▲ 38.7
サービス業	8	27	17	52	▲ 17.3
合計	23	105	81	209	▲ 27.8



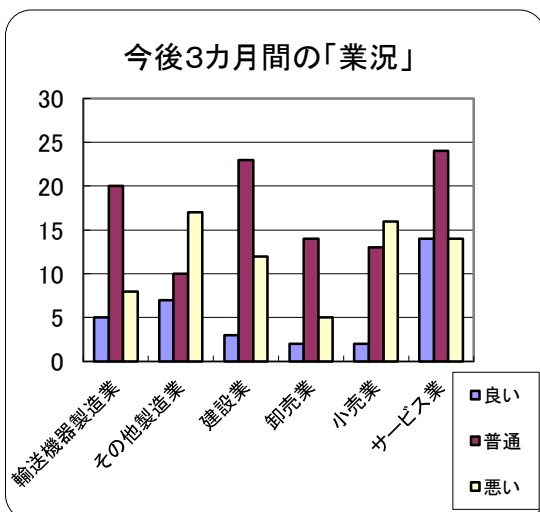
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	19	9	33	▲ 12.1
その他製造業	6	11	17	34	▲ 32.4
建設業	3	20	15	38	▲ 31.6
卸売業	1	12	8	21	▲ 33.3
小売業	3	13	15	31	▲ 38.7
サービス業	9	24	19	52	▲ 19.2
合計	27	99	83	209	▲ 26.8



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	20	8	33	▲ 9.1
その他製造業	7	10	17	34	▲ 29.4
建設業	3	23	12	38	▲ 23.7
卸売業	2	14	5	21	▲ 14.3
小売業	2	13	16	31	▲ 45.2
サービス業	14	24	14	52	0.0
合計	33	104	72	209	▲ 18.7



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	35.3	▲ 30.3	▲ 65.6
売上高前年同期比	38.2	▲ 6.1	▲ 44.3
仕入単価前期比	▲ 79.4	▲ 72.7	6.7
利益率前期比	▲ 11.8	▲ 42.4	▲ 30.6
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2
従業員前年同期比	▲ 2.9	0.0	2.9
業況前期比	5.9	▲ 30.3	▲ 36.2
業況前年同期比	17.7	▲ 12.1	▲ 29.8
今後3ヶ月間の業況見通し	8.8	▲ 9.1	▲ 17.9

[企業コメントより]

- ・引き合い(見積り)は来るが、廃業や加工費見直しによるもので、非常に厳しい。素材費は横ばいだが高止まりしたまま(上昇の話も聞く)。物は少ないなりに普通に流れている【部品加工】
- ・半導体不足に起因する自動車生産の減産(が悪化の原因)【内装品製造】
- ・廃業予定で新規の受注は致しておりません。今後の景況感については減少(悪化)の方向に行くだろうと思っております【内装部品製造】
- ・電気料金の上昇が今後利益に影響してくると思われます【樹脂成型加工】

その他製造業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 13.0
売上高前年同期比	2.6	▲ 14.7	▲ 17.3
仕入単価前期比	▲ 89.5	▲ 76.5	13.0
利益率前期比	▲ 52.6	▲ 41.2	11.4
資金繰り前年同期比	▲ 23.7	▲ 32.4	▲ 8.7
従業員前年同期比	▲ 2.6	▲ 17.7	▲ 15.1
業況前期比	▲ 23.7	▲ 41.2	▲ 17.5
業況前年同期比	▲ 21.1	▲ 32.4	▲ 11.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 28.9	▲ 29.4	▲ 0.5

[企業コメントより]

- ・今期は悪いが、今後は取り戻せるよう見通しは良いと思います【電気製品製造】
- ・新製品発売による売価upにより採算性改善。需要は引き続き堅調に推移【電気製品製造】
- ・需要減退とコストアップによる業績悪化【電気製品用鈑金加工】
- ・原材料、エネルギー、物流、人件費が軒並み高騰する一方で、大手企業は値上げは認めるものの、その値上げ幅は微々たるものとなっている。電力費の大暴騰の現状について従わざるを得ず、先行き不透明な部分が多すぎる日々が続いています【食品製造】
- ・2月は収入(売上)が全くありませんでした【住宅内装品製造】
- ・昨年行はずだった自動車関係の仕事が、今になり動き出したため、今期の業況は良くなった。しかし、部品がなかなか手に入らないそうで、治具関係の仕事がまた先延ばしになりそうな感じ。今後見通しが全くわからない。アルミ材は価格が下がってきているが、プラスチックは相変わらず品薄が続いていて今年いっぱいそれが続く見通し。価格が下がることはなさそう【樹脂製品加工】
- ・資材の高騰が続いている【物流用品製造】

建設業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 7.3	▲ 26.3	▲ 19.0
売上高前年同期比	▲ 7.3	▲ 13.2	▲ 5.9
仕入単価前期比	▲ 87.8	▲ 89.5	▲ 1.7
利益率前期比	▲ 31.7	▲ 39.5	▲ 7.8
資金繰り前年同期比	▲ 7.3	▲ 15.8	▲ 8.5
従業員前年同期比	7.3	5.3	▲ 2.0
業況前期比	▲ 9.8	▲ 23.7	▲ 13.9
業況前年同期比	▲ 9.8	▲ 31.6	▲ 21.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 29.3	▲ 23.7	5.6

[企業コメントより]

・昨年後半から良くない！【土木工事】

卸売業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	5.0	19.1	14.1
売上高前年同期比	20.0	0.0	▲ 20.0
仕入単価前期比	▲ 100.0	▲ 95.2	4.8
利益率前期比	▲ 10.0	▲ 19.0	▲ 9.0
資金繰り前年同期比	▲ 15.0	▲ 23.8	▲ 8.8
従業員前年同期比	5.0	▲ 4.8	▲ 9.8
業況前期比	▲ 10.0	▲ 19.1	▲ 9.1
業況前年同期比	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 23.3
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 14.3	▲ 14.3

[企業コメントより]

・相変わらず値上がりと品物不足は続いているが、これまでユーザー様からの材料支給だったものが、一部得意先の自社調達に切り替わった。少しづつ動き始めた感があり、当月から来月に立ち上がる案件を受注できた為、前期よりは良い傾向にある【電気設備資材卸】

・住宅リフォーム支援事業補助金について、1月～3月は例年売上減少になります。補助金制度の始期を早めた方が良いと思います。申請まで手続きがかかるので工事の始まる時期が遅れてさらに売上に届かない状況です【住宅設備卸】

・「売上高」増加に関しては、仕入価格上昇の為、製品価格の値上げによる。値上げですべてコストを吸収できないため、利益率は低下傾向にある【工業用油卸】

小売業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	17.2	▲ 3.2	▲ 20.4
売上高前年同期比	0.0	▲ 6.5	▲ 6.5
仕入単価前期比	▲ 96.6	▲ 87.1	9.5
利益率前期比	▲ 62.1	▲ 48.4	13.7
資金繰り前年同期比	▲ 34.5	▲ 45.2	▲ 10.7
従業員前年同期比	6.9	▲ 6.5	▲ 13.4
業況前期比	▲ 31.0	▲ 38.7	▲ 7.7
業況前年同期比	▲ 37.9	▲ 38.7	▲ 0.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 48.3	▲ 45.2	3.1

[企業コメントより]

- ・弊社、小売業です。売上は前年・前期に比べて良くなっておりますが、そもそもコロナ禍（2019年以降）激減したものが少し回復したものであり、2019年比ではまだまだマイナスです。加えて経費、仕入原価は上昇し、人件費も下げる訳にはいかず利益を圧迫しております【化粧品店】
- ・客数は増えつつあるが、客単価が少なく、また仕入単価の上昇は変わらずです【食品製造販売】
- ・飲食業界が前年同期と比べてやや好転してきているので、商品の動きがやや良くなって来たが、固定費（電気料、燃料代等）が上がっており経営は厳しい【飲料販売店】
- ・仕入値が上昇しているが、販売価格に転嫁できない。冬商品の売上げが気温上昇で売れなくなってきている【飲料販売店】
- ・コロナの影響で御先や店の客が減り始めた【菓子製造販売】
- ・光熱費の高騰とメーカーの値上げで利益を圧迫、しばらくは厳しい状態が続くと感じている【嗜好品販売】

サービス業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 2.0	▲ 19.2	▲ 17.2
売上高前年同期比	0.0	▲ 9.6	▲ 9.6
仕入単価前期比	▲ 64.0	▲ 65.4	▲ 1.4
利益率前期比	▲ 38.0	▲ 55.8	▲ 17.8
資金繰り前年同期比	▲ 22.0	▲ 36.5	▲ 14.5
従業員前年同期比	▲ 8.0	3.9	11.9
業況前期比	▲ 8.0	▲ 17.3	▲ 9.3
業況前年同期比	0.0	▲ 19.2	▲ 19.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.0	0.0	16.0

[企業コメントより]

- ・営業体制の見直しによる（効率化があった）【情報】
- ・材料費が上がり、苦しい状況、人件費を上げる世間の流れについていけず【和食店】
- ・燃料高、人件費高【運送】
- ・部品不足が原因で完成車の生産が1月から3月初旬まで激減。3月第3旬以降回復すると言われてはいるが、毎度のことで、いつまでもつか【輸送】
- ・（業況改善も）創業の浅い企業からすると、対前年比上がっていなければいけないので関係ない。むしろ、本来の計画から、コロナの影響で大幅に遅れをとっている事に課題があり、遅れるということは運転資金も消費するという事。その運転資金に対する融資のハードルは特に高く、スタートアップ企業に対する支援も検討して欲しい。そうでなければ、まだまだ不安定な今、起業をする経営者は減る一方だ【広告代理店】
- ・昨年12月頃から年始にかけては週末を中心に来客数は徐々に回復してきている。電気代や原材料費の高騰が続くので、かねてより検討していた値上げを3月より行った。当分は様子見だ。コロナ禍で飲食店から離れたスタッフの戻りはなく、人手不足感は否めない。更なる賃上げを検討している【レストラン】
- ・電気代、ガソリン、食用油の高騰により、経費は大きくなりました。これからの食材値上げにどう対応するかが問題と考えます。売上増を期待しますが、利益率の改善は難しいと考えます【飲食サービス】
- ・原材料と光熱費の値上がりの為、料金値上げをせざるを得ない状況です【理美容】
- ・見通しは不透明感が強く、主産業の自動車業界の操業次第と言える。商品であるスクラップは、年間平均単価は過去最高を維持しているが、物流的に物が実際に流れなければ、絵に描いた餅状態である【資源】
- ・値上げが多いのでまだまだ先の見通しは見えません。やってもやっても値上げで支払いが増加です。賃上げは大企業だけです【自動車整備】
- ・仕込も高騰、4月・6月と電気も値上げ。どこを削減していけばいいのか？商品の値上げもしづらい【居酒屋】
- ・宴会の予約が入るようになったが、お客様の予算や内容が数年前と変わらず折り合いつかず困惑する。これが、物価高に対し賃金が上がっていないと言う証ですね【和食】

(3)全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	4.7	▲ 16.7	▲ 21.4
売上高前年同期比	7.1	▲ 9.1	▲ 16.2
仕入単価前期比	▲ 83.5	▲ 79.0	4.5
利益率前期比	▲ 35.9	▲ 43.5	▲ 7.6
資金繰り前年同期比	▲ 17.0	▲ 29.2	▲ 12.2
従業員前年同期比	0.0	▲ 2.4	▲ 2.4
業況前期比	▲ 12.3	▲ 27.8	▲ 15.5
業況前年同期比	▲ 9.0	▲ 26.8	▲ 17.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.8	▲ 18.7	1.1

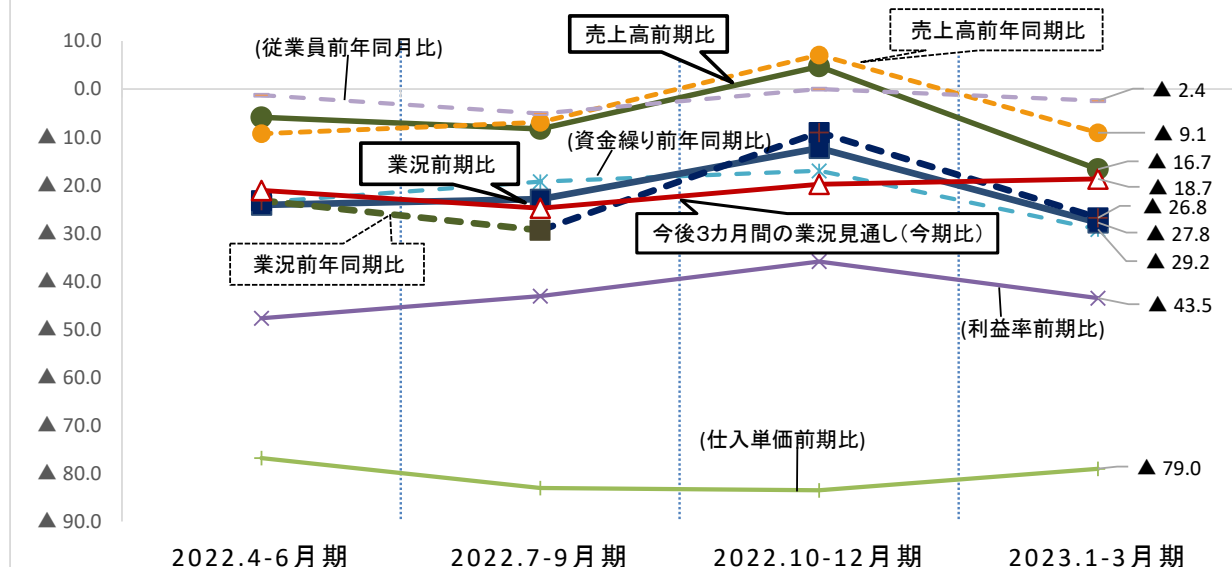
<動向について>

- ・1～3月期の業況DIは、素材・経費の高騰や受注不安定等の状況が長引き、全ての業種で前期比低下した。特に輸送機器は半導体不足による減産などが響き、売上・業況DIともに大幅に低下した。
- ・仕入単価DIは、前期までの10期連続悪化のあと、「横ばい」判断の増加により建設業とサービス業を除く全業種でわずかながら好転した。ただ、依然として物価高は厳しく価格転嫁もできないとの声も多い。
- ・先行きの業況見通しDIは、コロナ明けの経済活動本格化を期待しサービス業が16ポイント上昇。しかし依然として続く物価高や賃上げへの負担感もあり、全体ベースでは1.1ポイントの小幅上昇にとどまった。

全 体 D I 値 の 推 移	2022.4-6月期	2022.7-9月期	2022.10-12月期	2023.1-3月期
売上高前期比	▲ 5.9	▲ 8.3	4.7	▲ 16.7
売上高前年同期比	▲ 9.3	▲ 6.9	7.1	▲ 9.1
仕入単価前期比	▲ 76.8	▲ 83.0	▲ 83.5	▲ 79.0
利益率前期比	▲ 47.7	▲ 43.1	▲ 35.9	▲ 43.5
資金繰り前年同期比	▲ 23.6	▲ 19.3	▲ 17.0	▲ 29.2
従業員前年同期比	▲ 1.3	▲ 5.1	0.0	▲ 2.4
業況前期比	▲ 24.1	▲ 22.9	▲ 12.3	▲ 27.8
業況前年同期比	▲ 23.2	▲ 29.4	▲ 9.0	▲ 26.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 19.8	▲ 18.7

全体DI値の推移

～仕入単価DIはやや落ち着くも、なお物価高は厳しい水準。先行き持ち直し見込むも慎重～



<グラフの見方>

※グラフの実線は前期(今期)比の系列、点線は前年同期比の系列、
マーカーは売上高を●、業況を■、見通しを△とした。

(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.9	▲ 6.9	－	－
建設業	▲ 26.3	▲ 11.1	－	－
卸売業	19.1	▲ 1.5	－	－
小売業	▲ 3.2	▲ 14.1	－	－
サービス業	▲ 19.2	0.3	－	－
全 体	▲ 16.7	▲ 6.6	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 10.4	－	1.3	2.2
建設業	▲ 13.2	－	▲ 17.1	0.3
卸売業	0.0	－	0.3	
小売業	▲ 6.5	－	▲ 9.4	
サービス業	▲ 9.6	－	12.4	
全 体	▲ 9.1	－	▲ 1.2	0.7

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 74.6	－	▲ 80.7	－
建設業	▲ 89.5	－	▲ 82.4	－
卸売業	▲ 95.2	－	▲ 71.0	－
小売業	▲ 87.1	－	▲ 74.5	－
サービス業	▲ 65.4	－	▲ 68.1	－
全 体	▲ 79.0	－	▲ 75.3	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 41.8	▲ 30.8	▲ 26.7	3.5
建設業	▲ 39.5	▲ 35.2	▲ 31.2	0.1
卸売業	▲ 19.0	▲ 22.5	▲ 21.4	
小売業	▲ 48.4	▲ 39.1	▲ 26.8	
サービス業	▲ 55.8	▲ 30.8	▲ 13.8	
全 体	▲ 43.5	▲ 32.9	▲ 23.5	0.9

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 25.4	▲ 12.5	▲ 17.7	5.0
建設業	▲ 15.8	▲ 8.6	▲ 10.7	11.0
卸売業	▲ 23.8	▲ 8.5	▲ 11.9	
小売業	▲ 45.2	▲ 20.3	▲ 22.6	
サービス業	▲ 36.5	▲ 10.6	▲ 14.1	
全 体	▲ 29.2	▲ 13.2	▲ 16.0	9.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 9.0	▲ 5.9	—	—
建設業	5.3	▲ 6.4	—	—
卸売業	▲ 4.8	▲ 2.9	—	—
小売業	▲ 6.5	▲ 3.6	—	—
サービス業	3.9	▲ 5.5	—	—
全 体	▲ 2.4	▲ 5.1	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 35.8	▲ 13.6	—	▲ 6.0
建設業	▲ 23.7	▲ 13.9	—	13.0
卸売業	▲ 19.1	▲ 9.8	—	9.0
小売業	▲ 38.7	▲ 22.9	—	4.0
サービス業	▲ 17.3	▲ 8.7	—	3.0
全 体	▲ 27.8	▲ 13.7	—	3.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

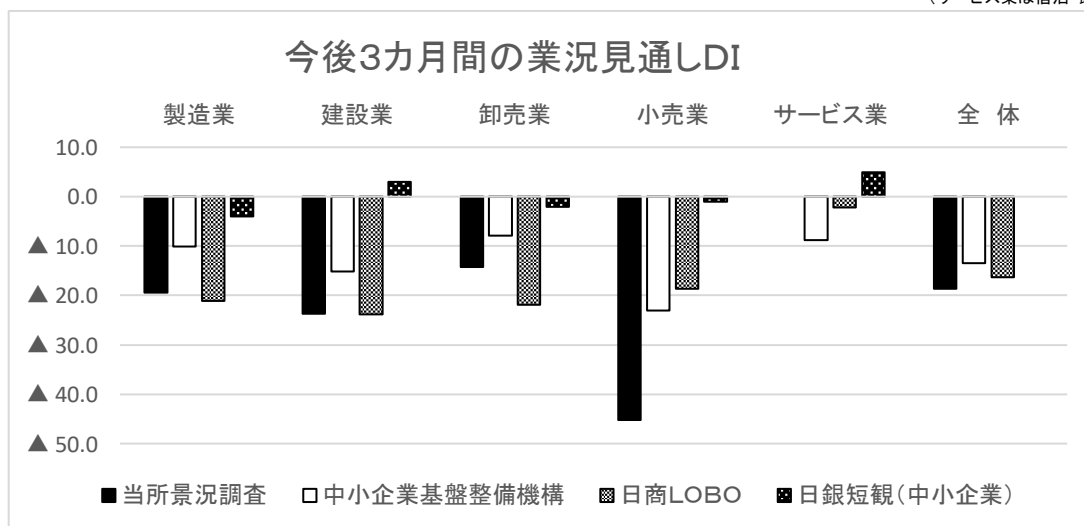
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 22.4	—	▲ 18.1	—
建設業	▲ 31.6	—	▲ 27.2	—
卸売業	▲ 33.3	—	▲ 18.7	—
小売業	▲ 38.7	—	▲ 24.2	—
サービス業	▲ 19.2	—	▲ 4.9	—
全 体	▲ 26.8	—	▲ 17.5	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 19.4	▲ 10.1	▲ 21.1	▲ 4.0
建設業	▲ 23.7	▲ 15.1	▲ 23.9	3.0
卸売業	▲ 14.3	▲ 7.9	▲ 21.9	▲ 2.0
小売業	▲ 45.2	▲ 23.0	▲ 18.7	▲ 1.0
サービス業	0.0	▲ 8.8	▲ 2.2	5.0
全 体	▲ 18.7	▲ 13.5	▲ 16.3	0.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所〔中小企業相談所〕

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2023年（令和5年）5月8日 発行